

2014

APR. 1

ボランティアセンターだより

たいない

発行 胎内市社会福祉協議会

地域福祉係 ボランティアセンター

胎内市西本町 11-11 ほっと HOT・中条内

Tel 0254 (44) 8682 FAX 0254 (44) 8651

E-mail borasen@tainai-syakyo.or.jp

助成金情報

◎平成26年度「県民たすけあい基金助成事業」2次募集!!

県民たすけあい基金助成事業

対象となる団体：ボランティアグループ・団体

助成対象事業：①福祉分野（障害者、高齢者、子育て等）を対象とする活動

②災害を対象とした活動

③地域住民が主体となった地域力向上に直結する活動

《今日的な福祉課題の解決に向けた地域（共助、互助）の対応》

助成対象事業及び内容：①学習・研修事業②福祉教育・啓発事業③調査研究事業④活動に必要な機器等整備事業（備品については上限価格等が限定されています。詳しくはお問い合わせください）④サービス活動事業

対象の事業年度：平成26年度事業

助成率：対象事業経費の9/10 ※対象事業経費の1割はグループ・団体負担

助成額：10万円以上で50万円以内

申込み締切日：平成26年5月16日（金）必着

申込み方法：「申請書」は新潟県社会福祉協議会ホームページからダウンロードするか、胎内市ボランティアセンター（社会福祉協議会内）にてお渡しします。所要事項をご記入の上、胎内市社会福祉協議会に提出願います。

お問い合わせ：胎内市ボランティアセンター Tel0254-44-8682



◎公益財団法人 大同生命厚生事業団 助成事業

シニアボランティア活動助成

応募資格：社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするシニア（年齢60歳以上）の個人もしくはそのグループ（グループの場合、シニアが80%以上であることを要す）。また、過去5年以内に当財団の助成を受けた人（グループ）は除く。

対象となる活動：(1)高齢者福祉に関するボランティア

(2)障害者福祉に関するボランティア

(3)こども（高校生まで）の健全な心を育てる交流ボランティア活動で、内容が先駆的、継続性、発展性があり、効果が予測できるもの

※例えば、①こどもと高齢者の交流②こどもと外国人の交流③健常のこどもと障害をもつこどもとの交流④こどもと働く人々との交流⑤不登校児、ひきこもりのこどもとの交流など、ただし、少年野球・サッカー等のスポーツ活動や通常のこども会活動は除く。いずれも目的、計画等が明確な日本国内での無償の活動とする。

助成額：1件 原則10万円 内容が優れている場合は20万円限度で助成

直接ボランティア活動に要する費用とし、シンポジウムや講演会開催、グループの事務所家賃、パソコンの購入費用、ボランティアグループのためのセミナー・講習会の開催などの費用は助成の対象としない。

申込み締切日：平成26年5月30日（金）必着

申込み方法：「申込書」は大同生命厚生事業団ホームページよりダウンロードするか、胎内市ボランティアセンター（社会福祉協議会内）にてお渡しします。申込みをご希望の際は、胎内市ボランティアセンターまでご相談ください。

お問い合わせ：胎内市ボランティアセンター Tel0254-44-8682

今回ご紹介するボランティアサークルは、

若泉会 中条教室



平成6年7月に発足した新邦楽舞踊若泉流の踊りを趣味として活動しているグループです。

技術を高めるため、胎内市産業文化会館の一室をお借りして、毎週水曜日午前先生のご指導のもと、練習をしています。発足時よりメンバーも変わりましたが、現在5人で頑張っており、施設等で入所者と手まねで踊ったり、手拍子をいただいたりして楽しくボランティアをしています。

施設ボランティアも年々増え、また、各種行事にも参加させていただいており、私達の踊りも磨きがかかってきています。

若泉流独自の本部、支部の行事にも参加発表し、その達成感は爽快なものです。



ボランティア掲示板

問い合わせはボラセン (Tel.0254-44-8682) まで

施設ボランティア募集【こばと作業所】

福祉施設にて、作業のお手伝いをしてくださるボランティアを募集しています。

※ 活動日・活動時間については、直接施設までご相談ください。

お問い合わせ：

社会福祉法人 青空会 こばと作業所

《住所》胎内市東本町22-31 《電話》44-8616

お知らせ

ボランティアルームは、**4月1日から夏時間**での貸し出しとなります。

午前8時30分～午後9時30分
(閉館午後10時)

※社協で管理している3部屋以外の部屋も月2回まで無料で利用できます。利用を希望する際は、必ず社協までお問い合わせください。
なお、社協を通さず、直接市の窓口で予約し、利用すると利用料が請求されますのでご注意ください。

ボランティア活動保険のご案内

安心してボランティア活動に取り組むために『ボランティア活動保険』に加入をお勧めします!!

詳しくは、ボランティアセンター、または、ふくしの保険 (<http://www.fukushihoken.co.jp>) にてご確認ください。



ボランティア保険Q&A

Q 活動中に転倒し、メガネが壊れてしまいました。補償の対象になりますか？

A ボランティア自身の携行品は、補償の対象になりません。

Q 活動前日の打ち合わせに向かう途中、ケガをしました。対象になりますか？

A 対象になります。活動に必要な会議や活動のための準備なども補償の対象になりますので、その往復途上も対象です。

ボラセンだより (発行日: 1日)

年4回発行 (4月、7月、10月、1月)



ボラセン活動報告

H25. 12. 21~H26. 3. 20

- ◆ ボランティアセンター運営委員会 (1/21 11名参加)
- ◆ ボランティア交流会 (2/16 74名参加)
- ◆ 助けられ上手講座 (3/12 58名参加)

- ◆ 余興ボランティア (13件)
- ◆ 運転ボランティア (3件)
- ◆ 点訳ボランティア
- ◆ 音声訳ボランティア
- ◆ 使用済切手収集ボランティア

- ◆ ペットボトルキャップ 75,440個発送 (約94.3名分のワクチン) ⇒ユニセフ (せかいのつばさ) へ
- ◆ 使用済プリントカード 0.5kg発送 ⇒日本盲導犬協会へ
- ◆ ヘルマーク 0.15kg発送 ⇒ヘルマーク財団へ